

令和元年(平成31年) 鴨川市10大ニュース(詳細)

順位	内 容(月)	詳 細
1	<p>台風15号・19号、記録的な豪雨により被害甚大(9月・10月)</p> <p>1日も早い復興を目指し「台風被害復興本部」を設置(12月)</p>	<p>9月・10月に渡り、台風15号・19号、記録的な豪雨などの大きな自然災害が発生しました。幸い人的被害がなかったものの、住宅の損壊や倒木など多くの被害に見舞われ、最大で1万8,100世帯が停電。停電は最長で2週間に渡り、その影響による断水などが起こりました。この間、市では、災害対策基本法に基づき「災害対策本部」を設置し、被害状況の把握に努めるとともに、食糧の供給や住家屋根の雨漏り対策、災害ごみの処理など、応急的な対応を行いました。全国各地からもお見舞いと激励、多くの支援物資が届けられたほか、市内外からボランティア協力もいただきながら、1日でも早い復旧に努めています。12月2日には災害対策本部を解散。新たに、市長を本部長、副市長・教育長を副本部長とした「台風被害復興本部」を設置するとともに、総務部総務課に「台風被害復興室」を設置し、引き続き被災者の生活再建に向けた支援に加え、災害に対して強い鴨川づくりを進めるため、今回の災害対応を検証し、見直していきます。</p>
2	<p>鴨川有料道路の料金徴収期間が満了 無料開放へ(4月)</p>	<p>鴨川市と君津市を結ぶ「鴨川有料道路」が、4月21日(日)午前0時から無料で通行できるようになりました。この道路は、昭和42年4月21日に開通。料金を徴収していましたが、徴収期間が4月20日に満了を迎えたため、無料化が実現しました。無料化後は、県道「千葉鴨川線」として、県が管理しています。</p>
3	<p>天津・小湊小学校が閉校 新しい「天津小湊小学校」開校へ(4月)、</p> <p>天津・小湊幼稚園、天津・ひかり保育園もそれぞれ統合(4月)</p>	<p>天津小学校と小湊小学校が145年の歴史に幕を下ろしました。3月には、それぞれの小学校で閉校記念式典が行われ、今春の卒業生や在校生、保護者、地域住民などが出席。児童から感謝の呼びかけや全員で校歌斉唱を行い、思い出の詰まった学校に別れを告げました。4月には、旧天津小学校に、新しく「天津小湊小学校」が開校しました。また、天津・小湊幼稚園、天津・ひかり保育園もそれぞれ統合し、新しく「天津小湊幼稚園」、「天津小湊保育園」が開園しました。</p>

4	円滑な交通の確保と安全性の向上 へ 国道128号実入バイパスが開通 (10月)	国道128号実入バイパス(新実入トンネル)が開通しました。国道128号は、外房地域の広域的なアクセス道路として重要な役割を担い、災害時の緊急輸送道路一次路線にも指定されていますが、平成15・16年に大雨による法面崩落が発生し、通行止めを余儀なくされ、住民生活に大きな支障をきたしました。このため市では、国・県に現道の代替路となるバイパス整備の要望を行い、平成21年から県が事業を実施し、平成29年10月に新実入トンネルが貫通。今年10月25日にバイパスが開通しました。
5	令和3年2月の開院を目指し 市立国保病院 工事入札へ(9月)	新しい市立国保病院は、3月末に実施設計が完了し、5月に千葉県地域中核医療機関整備促進事業補助金の交付内示が得られたことから、9月に工事の入札を行いました。災害時に市民を支える、これからの公的医療を推進する、まちの活性化を支える、この3つのコンセプトのもと、地域住民の暮らしを支える中核医療機関として、令和3年2月の開院を目指します。
6	不登校などの子どもたちをサポート 教育支援センター「ステーション」開設 (5月)	市教育委員会では、天津小湊支所3階に「教育支援センター・ステーション」を開設しました。ここでは、学校生活などに悩みを抱える児童・生徒に、豊富な経験がある3人の指導員が寄り添いながら、登校できる活力を身に付けさせ、将来の社会的自立を目指し、サポートしていきます。
7	子育て世帯を応援 鴨川シーワールド の年間パスポート(子育てパスポート) をプレゼント(4月～)	市と鴨川シーワールドでは「鴨川市民支援活動に関する連携協定」を締結し、子育て世帯応援事業として、2歳未満のお子さんの両親を対象に、年間パスポート(子育てパスポート)をプレゼントしています。この事業は、鴨川市の子育て世帯の応援を目的として、ご家族の居場所づくりや子育て中の父母のリフレッシュなどを推進するため、協働で行うものです。
8	千葉ロッテマリーンズ 2019 秋季鴨 川キャンプ 15日間で2万2,000人 の賑わい(11月)	11月1日(金)から11月15日(金)までの15日間に渡り、千葉ロッテマリーンズ 2019 秋季鴨川キャンプが行われ、監督・コーチ・選手・スタッフ総勢65名が参加。延べ2万1,852人の市民やファンが見学に訪れました。また、キャンプ期間中、災害復興イベントとして「学校訪問」や「チャリティーオークション」のほか、恒例のサイ

		ン・写真撮影会や少年野球教室などのイベントを開催し、選手とのふれあいの場も多く設けられ、訪れていたファンや来場者を喜ばせていました。
9	大正天皇即位以来の名誉 鴨川産の鯖節が令和の大嘗祭に供納(11月)	11月14日と15日の大嘗祭にあたり、庭積みの机代物(にわづみのつくえしろもの)として、鴨川産の鯖節が供納されました。庭積みの机代物とは、大嘗祭の際に全国の各都道府県から届けられる、特産の農産物5品目のこと。大嘗祭に鴨川市から特産品が供納されるのは、大正天皇即位の折にかつお節を献上して以来のことです。
10	昭和52年にオープンした「市民会館」が休館(4月)	長年市民皆さんからご愛用いただいた「市民会館」が休館となりました。同館は、昭和52年8月のオープン以来、市民文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に、文化活動や集会、催し物などの場として、多くの皆さんにご利用いただきました。昨年実施した事業仕分けで、市民判定人や仕分け人の皆さんから、建物が古く、耐震性が不明で使用を継続することへの不安などについてご意見があり、「不要・凍結」との判定を受けました。その結果を受け、改めて施設を調査した結果、耐震補強を実施しても十分な強度を得られる見込みが低いことがわかり、施設を休館することを決定しました。